

2023 年度

第 1 回 放送番組審議会議事録

日時 2023 年 7 月 10 日 (月) 13:30~14:30
場所 バロー文化ホール 会議室

放送番組審議委員

委員長

多治見商工会議所 専務理事 角田 誠治 様

副委員長

瑞浪市役所 総務部 企画政策課 課長 加藤 昇 様

一般社団法人土岐市観光協会 会長 石黒 信彦 様

多治見市役所 企画部 秘書広報課 課長 水野 琢也 様

土岐市役所 秘書広報課 課長 鈴木 伸重 様

川本製陶所 美濃焼おかみ塾 藤田 ちぐさ 様

学校法人廣池学園麗澤瑞浪中学・高等学校事務部 部長 川瀬 達也 様

入試係長

計 7 名

事務局

代表取締役社長 福村 郁夫

常務取締役 倉地 公彦

放送部 部長 佐伯 さほり

係員 須原 なつみ

係員 加藤 久美

議 事

1. おりベネットワーク株式会社 代表取締役社長挨拶
2. 委嘱状伝達
3. 放送番組審議委員・事務局 自己紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. おりベネットワーク 会社概要
6. 放送番組審議会について
7. 自主制作番組の説明
 - 1) 放送番組基準
 - 2) 自主制作番組の説明
8. 審議事項 (番組視聴)
 - 1) プラティ多治見ランドオープン生中継 [約 60 分]
 - 2) #麺が好き～たゆたふ(多治見市宝町)～ [6 分]
 - 3) アオハル!部活動～麗澤瑞浪中・高校 太鼓部～ [8 分]

4) 気になる一品～いつものごはんひとてま屋(多治見市三笠町) [3分30秒]

9. 写真撮影

審議事項 (番組視聴)

1) プラティ多治見グランドオープン生中継

<加藤委員>

式典が始まるまでの10分ほどは定点カメラの映像だけだったため、飽きさせない工夫が必要だったと思います。その後店内に入っただけのレポートは臨場感がありました。

<石黒委員>

最初の10分はもう少し工夫が欲しかったです。

<水野委員>

最初の10分はインタビューなどで繋ぐ必要があったと思います。

<鈴木委員>

ライブ感があり現地にいる感じになることが出来ました。レポーターが歩くところは画面が揺れて目が回りそうになりました。地域ならではの映像がアーカイブとして記録される事は良い事でCATVならではの番組だと思います。

<藤田委員>

打合せ不足を感じる部分がありました。体験コーナーを取り上げていましたが、実際にレポーターが体験すればおもしろかったのではないのでしょうか。

<川瀬委員>

テープカット場面でのカメラの揺れが気になりました。ライブ感はありましたが尺の工夫が必要だと思いました。新施設については多くの人に関心を持っていると思うので取り上げる事は良いと思います。

<角田委員長>

途中から見た人のためにテロップで今の状況を説明する必要があったと思います。カメラの動きや取材対象について、事前の打ち合わせが足りないと感じました。番組の題材としてはCATVならではのものと思うので意見を参考にさらに良いものにしてもらいたいです。

今後テナントがどんどん増えていくと思いますので、どんどん情報を発信して地域を盛り上げて行って欲しいと思います。

2) #麺が好き～たゆたふ(多治見市宝町)～

<角田委員長>

実際に行こうと思うと雲呑麺以外にも種類があるのか知りたいところです。

<加藤委員>

食レポが上手ですね。カメラの撮影の仕方を工夫していて見やすいと感じました。

<石黒委員>

この様なコーナーはとても良いと思います。地域で頑張っている人の店をどんどん紹介して行ってほしいです。地域の素晴らしい歴史と組み合わせることで地域を活性化することが出来るのではないのでしょうか。

<水野委員>

地元の店をどんどん紹介して行って欲しいです。オーナーがどうして開業することになったのか、その辺りのこだわりを追求すると面白かったかとも思います。

<鈴木委員>

テロップの使い方も上手く、食レポも過剰な演出を加えていないところが心地良かったです。

<藤田委員>

ラーメン店のオーナーさんが女性というのは珍しいのでは無いでしょうか。その点気になったので理由があるのなら掘り下げて欲しかったです。ワンタンもチャーシューも手作りということでしたが、チャーシューは他の店では中々見られない特徴のあるものだったので気になりそれも掘り下げて欲しかったです。全体的には見やすい良い番組でした。

<川瀬委員>

美味しそうだなあ〜と楽しく見ました。店主の背景などを取材してみても良いと思います。

3) アオハル!部活動～麗澤瑞浪中・高校 太鼓部～

<角田委員長>

太鼓部の生徒は青春をかけて一生懸命に活動していることが番組を通して伝わってきました。

<加藤委員>

人に焦点を当て率直な気持ちをインタビューで答えており先輩、後輩の繋がりの強さも伝わってきました。

<石黒委員>

若い人が一生懸命太鼓に打ち込む姿は素晴らしいと思います。

<水野委員>

素材が良いし、見ていて気持ちが良いし、この様な番組は若い新たな視聴者を生むと思います。若い人が映れば、その親も見るということで視聴が広がっていきます。文化祭など色んな機会を活用して文科系のクラブを取り上げていただきたい。

<鈴木委員>

このような部活動をこれからもどんどん取り上げて行って欲しいです。子どものしなやかさが伝わってくる先生のコメントも良かった。

<藤田委員>

笑顔の裏ではすごく努力をしているはずで、手はきっとマメだらけでしょう。その辺りも取り上げると良かったと思います。中高一貫校なので中学生の姿ももっと取り上げて欲しいと思いました。

<川瀬委員>

素晴らしい映像でした。取材を受ける、取り上げてもらうという事は、喜びと誇り、そ

して自己肯定感に繋がります。また、生徒の取り組みをシリーズで取り上げた事で地域とつながるきっかけとなり地域に応援団が出来る場合があります。そうなると素晴らしいと思います。

<角田委員長>

活動を色々な人に見てもらおう事がCATVの役わりです。知られていない取り組みをどんどん取材して番組にし、多くの人に知らしめて欲しいです。

4)気になる一品~いつものごはんひとてま屋(多治見市三笠町)

<角田委員長>

隠れた、世に知られていない良いものをおりベネットワークの力で皆さんにPRしてもらいたいと思います。レポーターがバインダーを持ってしゃべっていましたが、あれは無い方が良く感じました。

<加藤委員>

店主こだわりの品を簡潔に分かりやすく紹介していましたし、色々工夫されてメリハリのある構成にしてある点も良かったです。

<石黒委員>

先ほどの麺の紹介と同じく、この様な店をどんどん取り上げて紹介して行って欲しいと思います。

<水野委員>

視聴者の知らない事を知らせてあっと言わせる点がCATVの良いところだと思います。

<鈴木委員>

オーナーの「食べる事は生きる事」というコメントが良かったです。他では見られない食材にも魅力を感じたし、細かく良さを伝えていて美味しそうに感じられました。山下さんのコメントはいつも感じていますが、親しみやすく良いです。

<藤田委員>

知られていないお店をもっともっと紹介してください。CATVで放送すると行ってみたいと思います。インスタより効果があると思うので多くの人に出てもらいたいです。

<川瀬委員>

新たな発見があると楽しいのでこれからももっとこのような店を取り上げて下さい。

<角田委員長>

各委員から出た意見を参考にしてより良い番組作りをしてください。 以上